



14
669

國民經濟學



始



館田鎌吉先生講述（非賣品）

國民經濟學

（以謄寫版換單寫）

大正十一年度明大講義

14-669



自序

著者ハ大正八年四月、社命ヲ帯ビテ横浜ヨリ解纜シ、北米合衆國、
 コマレ市ニ在勤シ、厩ルコト一年ニシテ市域尙發育ヲ經テ大回洋ヲ横斷
 シ、西班牙國、コジハラルタルレ、カダダレニ上陸シ、更ニ海路、地中海
 ニ入り同國第一ノ貿易港タル、バルセローナニ逕行ヲ暮シ、鐵路、
 境ヲ越エテ佛口、ナールボニ泊シ、マルセローニ出デ、巴里ヲ通
 道シテ、ル、ハールブル、港ヨリ英口、サオホムアトニ上リ、更ニ倫
 敦ニ着シ、洋在半年、嘗サニ經濟學派ノ生活ヲ觀、更ニ、チームスレ
 河ヲ下リテ、對岸自耳義、アソ、カニ奉リ、北オ、オランガ、ロフ
 テルカ、ムレ港ヲ見テ、獨ニ、海港タル、ハンブルク、ニテ、
 ノ戰後ニ考ヘ、直ニ、海ニ、大工、レテ、印度洋ヲ越ヘ、支那諸港ヲ
 覽見シ、大正十年二月末日、葛ナク、再ニ、橫濱ニ上陸シ、正ニ、外遊前ニケ
 年ノ、運期ヲ終レリ、其ノ、同餘暇ヲ以テ、年來ノ、研究ヲ筆ニシタルモノ、實

大正
 11. 5. 31
 内交

ニ此ヲ「國民經濟學」ナリトス。極口違フ、獨ルニ不便ナルガ故ニ身近
一冊ノ我ニ經濟學者 秀書ナク、又ハ他ニ、及ビ英、及ビ佛、及ビ
書ヲ傳授トセシメ、研究ヲ思慕若シ。期スルニ後日ヲ以テ增補修正
取シテ其ヲ價ハントス。

幸ニ茲湖先學諸賢ノ訛正ヲ辱セバ著者望外ノ光榮トナス。
大正元年十二月十五日、拙乙淺學港外板氏五度ノ察十二懷ヒフ。

著 者 識



第一編 國民經濟

第一章 國民經濟學

Die Volkswirtschaftslehre

人 定義 國民經濟學 (oder national ökonomische)

トハ一國民ノ物質生活ニ關スル研究ヲ目的トスル科學ニシテ之レヲ三
大別スルコトヲ得。

又 純理論

Die theoretische Volkswirtschaftslehre

即チ國民經濟學純理論

純理論ノ目的トスル所ハ其ノ經濟的現象ヲ「存在」sein 及ビ「現象」
geschehen トシテ研究スルモノニシテ「例」ハ「光復前」者者間、價格

ノ場ニ於テ其ノ研究ニテ其ノ事理ヲ明ニスルヲ曰民経済学ノ
第一任務ナリトス。

茲ニ於テ曰民経済学ハ凡テノ経済事實 (*Tatsachen*) *und*
Wesenszüge) ノ原因ヲ研究セホルベカラズ、單ニ事實ヲ記述スル

ヲ以テ足レリトセズ、甲乙相連結スル事實ノ原因ニ遡リテ相互ノ手帳及
ビ其ノ作用トズレガ變化ヲ確カシホルベカラズ大レ故ニ経済現象ノ原因
ハ或ハ或ル自然的原因ニアルコトアリ、或ハ人願ノ精神現象ニアルコ
トアルベシ、後者ニテシテハ或ハ人願ノ意思又ハ行爲ニアルコトアリ、
而シテ人願ノ行爲ハ或ハ或ニ相作用スルモノニシテ今日ノ一行爲ハ過去
ノ行爲ノ果、果合的結果ナレヲ以テ曰民経済学ヲ研究セントモバ復ラク
古代ニ於ケル人願ノ経済生活ノ變遷ニ遡リテ現在ニ於ケル新シキ経済生
活ト經濟組織ヲ觀察セホルベカラズ。

現在觀察セホルベカラズホル状態及ビ行爲ノ研究ニハ其ノ事實ノ過去ニ
遡リテ経済生活ノ過程ヲ明ニスルコトヲ要スルモノナリ。

故ニ曰民経済学ハ人願ノ経済生活ノ正當的發展ヲ研究セホルベカラズ
就中重要ナルハ此等ノ経済的事實ハ或シテ人生ノ全文化生活ナリマ、又
ハ其完全ニ有益ナルモノナリマ百々、及ビ其ノ是非善惡ヲ研究セホルベ
カラズ、凡テ此等ノ曰民経済学ノ任務及ビ目的ハ普通曰民経済学 (*Nationalökonomie*)
Nationalökonomie) 曰民経済学純理論 (*Die reintheoretische Nationalökonomie*)
又曰民経済学 (*Volkswirtschaftslehre*) *National*
Ökonomie nationale) ノ身、下ニ論ゼラルモノトス

3 政策論 *Wirtschaftspolitik*

経済学ハ單ニ上記ノ任務ヲ以テ足レリトセズ
経済学現象ノ批評ハ或ニ人願ノ國体生活タル社会及ビ曰家ニ於テ人願ト
此等ノ経済現象ト如何ナルヲ係アリマヲ研究シ更ニ之ガタノニ精ニ曰家
ノ強弱ヲ以テ經濟組織ヲ指導セホルベカラズ、若シ經濟事實ニシテ人
類進化ノ法則ト違反シ人性發展ノ妨害トナリ、更ニ之ガ原因ト状態トヲ

組織論ノ千係ヲ見ルニ純理論ニヨリテ人英經濟生活ニ千係ヲ見ニ純理論ニヨリテ人英經濟生活ニ千スレ法則ヲ認識シ、社会ノ進歩ト人又ノ因承スルノ方策ヲ研究スルハ政策論、悉ク短ニシテ之ノ政策ヲ實生活ニ行フガタメニハ程々ノ概ヲ及ビ其ノ運動ニ接クナルベカラズ、其ノ研究ヲ極スモノハ實ニ組織論ナリ。

以上ノ如ク三者、千係ハ相倚立シテ動シテ經濟生活ノ完全ナル発達ヲ期シ得ルモノトス。

(5) 本質

(J. B. Cairness A Logical method of Political Economy 1888. pp. 56-57)
國民經濟ノ本質)

人英ノ態度、隨時、性、向有ハ昔財貨獲得ノ人心ニ影響ヲ及ボスモノニ

シテ殆ンド無限ナリ。

シカレドモ此等ノ以一定ノ法則アリテヨク財貨ノ生産分配ニ千スルヲ係ラ規俾スルモ其ノ根柢ハ夫ニ人英ノ精神ニ基クモノナリトス。

今此等ノ法則ヲ研究スルヲ以テ曰氏經濟學ノ最も重大ナル任務ナリトス、曰氏經濟學ハ實ニ人英ノ性價ニ于シテ心理的事實ヲ說明シ、最何ニ人英ノ産業ノ目的トスル生産要素ニ付テ重要ナル物理學的性質ヲ研究スルモノトス。

斯クノ如クシテ以上述べタル主要ナル精神的法則ヲ以テ物質的幸福及心之レガ等級トシテ財貨ニ対スル欲望ノ一般性ヲ研究セントスルナリ。之が意ノ其ノ目的ニ到達スベク最輕最簡ノ方法ヲ発見スルノ智識的判斷カラ養ヒ、最少限度ノ犠牲ヲ以テヨク其ノ欲望ヲ達スレノ精神的事實ヲ探求スルニ在リ、之が意ノ二曰氏經濟學ハ人英ノ物質生活ノ心理的條件ト相関連シテ人英ノ精神作用ヲ人曰ノ法則ヲ定メテ人英ノ努力ヲ集中スル土地ノ性質等ノ自然現象ヲモ研究スルモノナリ、其ノ事實ノ精神

ハ
的タルト物價的タルトヲ向ハズ曰民経済学ハ之等経済現象ノ材料自体ヲ
説明スル意ソニアラズシテ推理ノ材料トシテ財貨ノ生産及ビ分配ニ于テ
ル原因ヲ研究スルヲ以テ其ノ本質トス、

6. 測源

Quellen der Volkswirtschaftslehre ハルヲノ経済的
源泉ニシテ之レガ認識ノ方法ハ頗ル多岐スシテ相集リテ茲ニ曰民経済学
ヲ構成ス、

其ノ研究方法ニテ史ニヨルモノ、地理ニヨルモノ及ビ統計ニヨルモノ、
刑、及ビ日刊之新聞、及ビ雜誌ニヨルモノ、立法ニヨルモノ、労働団体ニヨ
ルモノ又ハ直接ニ経済生活ノ觀察ニヨルモノ、等一々枚挙ニ遑マテアラス
7. 補助科学

Wissenschaftsgattungen エトシテテア地理、法律学、曰家学、及

曰其ノ技術ニ于テハ一般科学著ナリ

8. 内容ト分類

Inhalt und Einteilung 以上ノ各タル曰民経済学ノニ大
別タル純理論、及ビ政策論、外ニ更ニ之レヲ其ノ以テヨリ分類セバ最モ
通説トシテハ

1. 財貨ノ生産論 production
2. 財貨ノ流通論 Umlauf oder Zirkulation
3. 財貨又ハ収益ノ分配論 Verteilung
4. 財貨ノ消費論 Konsumtion ナス

9. 参考書

英 籍

1. J. S. Cairnes, Leading Principles of Political Economy.
2. H. Fawcett, Free Trade and Protection.
3. F. Marshall, Principles of Economy.
4. J. J. Mill, Principles of Political Economy.
5. J. A. Nicholson, Principles of Political Economy.
6. N. G. Pierson (新南) Principles of Economy.
7. D. Ricardo Principles of Political Economy and Taxation.

8. E. R. S. Seligman, Principles of Economy.
9. H. Sidgwick, Principles of Political Economy.
10. A. Smith, Wealth of Nations.
11. G. A. Walker, Political Economy.

佛 籍

1. Charles gide; Principes d'économie politique.
2. Charles gide; Histoire des doctrines économiques depuis les physiocrates jusqu'à nos jours.
3. M. Walras; Elements d'économie politique pure.

- 11
4. Leroy-Beaulieu; Précis d'économie politique.
 5. De Lavergne; Éléments d'économie politique.
 - 6, 8-13. Say; Cours d'économie politique.
 7. Proudhon; Contradictions économiques.
 8. Cournot; Éléments économiques.
 9. Chateletain; Le capital économique et le capital financier.
 10. Bastiat; Harmonies.
 11. R. A. Murray (1774-1811); Cours d'économie politique par Pierre Barre.

獨 著

1. Lang; Über den obersten Grundsatz der politischen Ökonomie.
 2. R. Tiefmann; Grundsätze der Volkswirtschaftslehre.
 3. Ran; Grundsätze der Volkswirtschaftslehre.
 4. Baugnot; Die Theorie der Nationalwirtschaft.
 5. Thünen; Über isolierte Stadt.
 6. Mangoldt; Grundsätze der Volkswirtschaftslehre.
 7. K. Menges; Grundsätze der Volkswirtschafts-
- 11

ナリトスルノ理想ニヨルガ故ニシテ曰氏経済學ハ一日々氏ノ物質生活ノ
研究ナルガ爲メニ之レヲ一般應用科學ト分離スルコトヲ要ス
人生ノ一面タル物質生活ハ人英生活ノ凡テニアラズ 精神生活タル^{對立}
面タルニスギズ シカモ物質生活ハ精神生活ノ要素ナルガ如ク精神生活
ハ物質生活ニ方向ト目的トヲ附ス

シカモ生活ハ單ニ存在ノ研究ヲ以テ足レリトセズ 規範ノ問題ヲ包含
ス 故テ經濟學ヲ以テ自然科學トナセズシテ精神科學トシテ之ノ研究ニ
ハ倫理學 法律學 社會學ノ研究ヲ要スレト共ニ兼テ自然科學ノ法則
及ビ方法ヲ以テ說明スルノ最も便利ナルハ一面經濟學ハ人生ノ^{漸進}生活
ノ研究タルト共ニ^{漸進}生活ノ研究ナルガ故ナリ

此クノ如ク經濟學ノ範圍甚ダ廣ク 故テ其ノ法則モ甚ダ明確ナラホ
ルモノアルノ理由モ^{漸進}ニ存ス人心ノ^{漸進}明カナラズ 且ツ^{漸進}力^{漸進}態ナル
ト物質要求ノ態^{漸進}モ亦^{漸進}テ^{漸進}態ナルモ其ノ理由^{漸進}テ^{漸進}態^{漸進}ニ
或ハ^{漸進}態^{漸進}ニ 或ハ人ノ如何ニヨリテ各々其ノ法則ヲ^{漸進}態^{漸進}ニスルモ其間可

ク一貫ノ法則アルモノニシテ畢竟經濟學ハ人々ノ^{漸進} 社會文化ノ^{漸進}
ト^{漸進}伴スベキ科學的本質ヲ有スルガ故ニ其ノ研究モ亦^{漸進}等^{漸進}級ノ科學ト
相^{漸進}映^{漸進}ツテ相^{漸進}補^{漸進}充^{漸進}シ 相^{漸進}進^{漸進}行^{漸進}シテ研究スベキモノトス

II. 外國用語

曰氏經濟學ノ用語ニシテ是ラズ

人 國民經濟學

英語

Political Economy

National Economy

Social Economy

邦語

L'Economie Sociale

L'Economie Nationale

1:
獨 譯. *L'Économie Politique*,
Volkswirtschaftslehre, National ökonomi-
ka.

Nationalökonomie, *Politische Ökonomie*,
Sozialökonomie, *Sozialökonomie*;

又 國民經濟學純理論

英 譯. *Theory of Political Economy*.
(Principles, doctrine.)
獨 譯. *Économies*, *Pure Economy*,
Économie Pure, *Théorique*.

獨 譯. *Théorie des Volkswirtschaftslehre*.

3. 國民經濟學政策論

英 譯. *Economical Politics*.
獨 譯. *L'économie Pratique; appliquée*,
ou Encyclopedie,
獨 譯. *Wirtschaftslehre politisch*.

第二章 國民經濟ト國家

人 奇人ハ社会文化生活ノ中最も重要ナル曰民經濟ナルモ、ト曰家トノ干係如何ヲ研究セラルベカラズ。

奇人ハ今論ニ據テニ簡單ニ曰民經濟ト曰家トノ干係ヲノブルニ當リ、曰家生活 *Stata Leben* ハ經濟力ニヨリテ充實ナル曰家約規範法律ヲ以テ規定セラルベキ事及ビ曰民經濟學ハ今又故之ナル一科學トシテ格連シクルモノナル、理由ヲ以テ詳シキコトハ經濟學ノ研究ニ俟テハルベカラハルモノ一書ヲ以テ曰家ノ曰民經濟干係ヲ取扱フ取柄ノ如何ナルモノナルマニ付キ、深カレニヒソソトス。

且 曰家行爲ノ以テ最モ外部ニ影響ヲ及ボスモノハ經濟活動 *Wirtschaftliche Tätigkeit* ナリトス。シカシテ經濟活動ハ曰家生活ニ最モ大ナル影響ヲ及ボフルモノニシテ、其ノ他ノ宗教、科學、又ハ美術的活動ノ遠ク及バハル処ナリトス。

如何ナル時代ニ於テモ曰家ハ一般文化生活ヨリモ經濟生活ノ内上ヲ計ル事ニ努カスルモノニシテ此ノ外カアルガ故ニ曰家ノ經濟活動ヲ通算スルコトアルベカラズ、曰家及ビ法律制度ナランバ商業組織ノ發達ナリ、知有枚制度モナカルベシ。夫ノ曰家ノ曰民ニ課スル租税ハ之レヲ各個人經濟ヨリ奇ヘバ却ツテ曰民ノ苛痛トスルモノナルモ曰民ノ總付スル曰税 *Staatsteuern* ハ總尙曰民自身ノ悉クニスルモノナリトス。了、他方ニ於テ曰家ノ使命ナルモノハ悉ク經濟的大度ヲ以テ計重セラレハモノニアラズ。

曰家ハ財產ヲ生産シ、貨幣價值ヲ得ン事ヲ總尙ノ目的トスルモノニアラズシテ曰家行爲 *Staatliches Verhalten* ナルモノハ凡テノ価値觀念ヲ超越スルモノニシテ到底曰家ノ理想ナルモノヲ貨幣ヲ以テ詳細ニ得キルモノトス。美術品ハソノ最先代同ヲ以テ其ノ真正ノ価値ヲ計ルコトアリハハル如ク、曰家行爲モ亦此ノ如キ物質的詳細ヲ許サズレモノトス。4、曰家ハ曰民經濟ヲ保護シ、指導シ、其ノ進歩ヲ阻害スベヤ緩クノ施

故ヲ最シ得ベキモ其正ナル曰民經濟ノ活動力ハ社会曰民自身ノ行爲ニ外
ナラズ。曰家ハ又曰外郭ヨリ之ヲ擁護スルノミ。曰民經濟ハ其ニ其極ノ
守固ノ發達ノ祖ニアル在テ其發達物ナリト云フ事ヲ得ベシ。

特ニ地有権ノ觀念ニテシテハ其ノ首ノ要理ナルコトヲ知レコトヲ得、
5、如何ナル時代ニ於テモ人莫ト對價トノ間ニ法解ヲ係ノ存在シタルモ
ノニシテ今日ト云モ尚ホヨリ奇人ハ經濟生活ヲ決定スル法律制度ハ人莫
ノ性向ニ其ノ根ヲ根流ヲ有スルモノナルコト認ムルコトヲ得、
抑モ地有権 *Grundbesitz* ナル觀念ハ、自我 *Das Ich* ノ觀念ヨリ

發達シタルモノニシテ、我カ物、汝ノ物ナル觀念ハ地有権ナル觀念ヲ示
ス如ク自我ノ觀念ノ祖ニ地有権ノ觀念ヲ包含スルモノトス、外界ノ事物
ヲ支配スルコトニヨリ人莫ト自己ノ本性ヲ其ノ上ニ主張シ得レモノナレ
ドモ地有権ナル觀念ハ任意的、人定約觀念ニアラズシテ已ニ人性ノ祖ニ
即チ自我ノ發源ノ祖ニ、ソノ根流ヲ有スルモノナルコトヲ認ムルコトヲ得
オラズ。

6、元來地有権ハ純樸ナル共產制度 *Kommunismus*、

何人地有権 *Privatigentum* ニ發達セルモノニシテ原始的曰

家ニ於テハ土地ハ一人ノ共有ニシテ曰民ノ遊牧生活ヨリ農業生活ニ入ル
徒ニ、何人地有権ハ漸ク進歩シタルコトハ土地ノ地有者ハ其ノ始ノ家屋
及び庭園ノ何人地有権ヲ有シ、後村落ノ慣習ト規約ニ從ヒ自己ノ耕作シ
得ル耕作地ノ制限的地有権 *Beschränktes Eigentum*、ヲ享
有スルニ至リ、遂ニソノ土地ニ土着スルニ至リテ牧場及び森林地ノ持分
故ヲ有シタリシモ分割請求故ヲ有スルコトナリ、地分故 *Verfügungsgewalt*、
ハ依然トシテ村落全体ニ屬シタリキ、今日ト云モ尚ホ諸曰農民間ニ古代
共有觀念ニ基テ制度アルハ此ノ理由ナリトス。

7、又此ノ進ムニ從ヒ、此ノ如キ共有権 *gemeinschaftlich* ハ多
ク、場合ニ於テ最早之レヲ維持スルコトヲハホルモノニシテ業者ハ持
有ヲ探奪シテ共有利用、利益ヲ獲斷シタルが故ニ曰家ハ自己土地分割ノ
不公平ヲ矯正スル、義務ナルヲ思ヒ茲ニ於テ、何人地有権ヲ許シシタル

ナリ。

サレバ曰家ナケレバ昔人ノ財産短有 *Sie haben* ナルモノアル
ナリ。曰家ノ短キヲ決モ亦正當ナルモノトス。從テ如何ナル何人短有故
ト云モ曰家ニ對スル絶對權 *absoluten Recht* ナルコトナシ。

9. 曰家ヲ以テ經濟的ニ直接ニ生産的ナルモノト認メシモ曰家ノ最
モ困難トスル短ハ財產ノ分配ノ政策ヨリモ財產ノ生産及び消費ニ對スル
方策ナリトス。從來ノ消費的習慣ヲ變化スルハ財產生産ノ新組織ヲ設ク
ルヨリ更ニ困難トスル短ニシテ天ガ社会ノ自由力ニ俟ツノ外他ニ良策ナ
シ。

之ニ及シテ財產ノ分配ニ對シテ曰家ノ政策ノ力甚ダ強ケレドモ公平ナ
ル分配ノナシ得ホルコトハ尙余今故カコレコトナシ。現在ノ財產ノ量ハ
餘リニ少量ニシテ曰民各階級間ニ其ノ福利ヲ均霑セシムルコト到底ナシ
アタハホル短ナリトス。

9. 曰民短ノ均分的配當ヲ期スルノ意思ハ理論上全無誤謬ニシテ曰民短

健及び其ノ物質的、精神的、文化教育、爲シ必要欠ケベカラホルハ財產
ノ均分ニアラズシテ、財產ノ數量的蓄積ニアリトス。

現存スル財產ノ稀少ナルハ昔人ノ認ムル短ナリ。シカラホレバ昔人ノ
物質欲望充足ニ欠ケベカラホル労働者問題ヲ發生スルコトアルベカラズ

世ニ所謂「中流階級」 *Mittelstand* 存スルコト及び曰家ノ核心
ハ其ノ根ニアルコトハ昔人之レヲ認ム。シカレドモ中流階級ノ財產ノ量
ハ到底現代ノ大信用經濟、及び大資本ヲ要スル産業組織ノ發達ヲ来スベ
クモアラス。故ニ吾人ハ經濟的生産ノ急メ大資本ノ正当ナル存在価値ヲ

認ムルコトハ尙ホ労働者階級ノ存在ノ必要ヲ認識スルト異ナラズ
ハ。曰家ノ存在ノ理由ヲ認識スルハ社会人英ノ一部ハ社会奉仕ト教育
的任務ニ當ラハレバ以テ曰家ノ理想タル社会ノ文化ヲ期待スルコトアリ
ハス。

此カレ社会組織ニ在リテ財產ノ均分ヲ改メモ其ノ均分的標準ナルモノ
ヲ如何ニセントスルカ。人英ノ生死ハ瞬時ニ絶スルコトナシ。之ニ對シ

テ財債ノ均等分配 *gleiche Verteilung der Güter*
ヲ企テフルハ到底ナシ得ル知ナリトス

一部曰瓦釜争醜ニ依レバ凡テ財債ハ人ノ才能及ビ社会奉仕ニヨリテ分
配セラレサルベカラズト主張スルモ實事ト善惡トヲ同ハズ曰家財産ノ
起有テ互ハ社会的階級ヲツキニ浮動ナラシムルカ如キハ到底実行シ得ズ
オラホルノミナラズ望マシカラハルコトナリ。其ノ根本思想ハ凡テノ善
ハ外界ニ對シテアリトスル物質主義 *Materialismus*、動
機ヲ欲スレル誤見ナリ。此トト類似ノ思想ハ倫理的宇宙觀 *ethische
Weltanschauung*、ニモアリ。即チ凡テノ財債ヲ以テ分配
ノ標準ヲ行致ノ終極ニ置クモノトス。シカレドモ外部ノ報酬ヲ期待スル
モノハ真正ノ德行ニアラホルナリ何ニセン。
ル。或ル経済力ノ優者ハ弱者ヲ掠夺スルガ故ニ曰家ハ此ノ如キ掠夺者
ノ能力ヲ制限スレノ義務アリト唱フル者アルモ曰家ハ節儉者ト浪費者、
強者ト弱者、勤勉者ト怠惰者トヲ混同シテ社会進歩ノ要素ヲ切ゲルコト

アルナシ。是レ強者ノ力、勤勉者ノ精、節儉者ノ蓄トハ能ク地ノ及對
者ヲ階級セシメテ文化ノ發達ト人々ノ進歩ヲ期スルモノナルヲ以テナリ
從テカ、ル掠夺、外親約不公平ハ社会生活ニ於テ寧ク換成スベキコトナ
リト言ハホルベカラズ。只外其ノ強用ト專横ニ對スル消極的制限ノ必要
ヲ以テ曰家政治ノ規章トナサザレバカラス。
又、シカラバ財債分配ノ健全ナル標準ハ何ゾ。凡テノ財債ノ価値ハ抽
象的標準ニヨリテ計量スラル、モノ、即チ曰家ノ欲望ニヨリテ決定セラ
ル、モノナルモ曰家ハ自ラ此ナル人心ノ需要供給ノ心理ニモ涉スベキモ
ノニアラス。

如何ナル時代ナリト言モ上流社会ト下流社会トノ別争ハ社会生活ノ
懸隔アルベキモノニシテ曰家ハ又階級ノ及目ノ甚ダシキヲ以テ下流
社会ノ利益ノ上流社会ノリノニ懸断セラレ、コトナキヲ期スルノミ、シ
カラバカ、ル下流社会ノ物質的利権ヲ許ル者ハ何人ナルカ、ニ流社会自
身ニ外ナラズ、上流社会自身ノ秩序ト保証トヲ以テ之ヲ扶助スル外他ニ

途ナシ

13. 現代ニ於ケル労働者階級 *Arbeiterstand* ハ明クニ古今未
 曾有ノ社会問題ナリ。故テ、生活ハ古代ノ奴隷ヨリモ更ニ卑賤ナル産業
 家畜ニ由リシ所新。其階級 *Venter stand* ノ發生ハル者然テ
 起タルノミ。此等ノ社会生活ノ困難ナル者ハ相率イテ同一階級意識
 ニ至ルトキハ著ニ階級階級 *phale class* ノ發起ナリ。階級争闘
 ノ開始トナルモノナリ。

亦シテ労働者階級ニ *Landale* ノ言フガ如ク債銀貸別 *Spines party*
 ノ要理ナル限リ債銀ハ彼等ヲシテソノ生活ノ改良ヲナシハルニ足ラズ
 永久ニ不流社会ニ沈淪セラルベカラハルニ至ラン。曰家ノ労働政策此ニ
 依テカキ、労働ヲ見ホルベカラズ
 14. 此ノ如ク労働者階級ノ待遇ヲ改良スルハ曰民ノ富ガテ増殖スルニ在
 リトシ。自由貿易 *Free trade* ノ政策ヲ立テタルモ一度ニ露西亞、
 米曰ノ原料大受生産ノ競争ニ逐フマ曰内産業ノ衰テラホシ。曰民階級

Bauernstand ノ減セトナリ時ノテ保護政策 *Schutzpolitik*

ヲ採リテ前非ヲ改メ曰以産業ヲ奨励スルニ至リ。茲ニ於テカ大資本ノカ
 類リニ盛大トナリ。一ニ資本家ノ他ノ生産参加者ノ利益ヲ在制スルヲ見
 ラ。資本主義 *Kapitalismus* ノ征伐ノ必要ヲ生シテ蓋ニ今日ニ至
 レリ。特ニ其ノ企業組織ノ根城タル株式会社 *Aktiengesellschaft*、
 ニ至リテハ資本力ノ物價的暴力ヲ揮テ最モ甚シキモノニシテ社会人生ヲ
 シテ資本化 *Kapitalisierung*、セズンバ止マホラントスル
 ノ勢アリ。曰家時来ノ経済政策ハ此ノ点ニ集中サル、ノ時期アルベシ。

第三章 國民經濟ノ発達

第一節 生産方法ニ依ル區別

曰民經濟ハ其ノ労働ト自然トノ干渉、即チ財價ノ生産方法ノ異ナルニ

ヨリテ *Früchtlich* Stufe = 第一、第二、第三、第四、第五ノ階級ヲ經過シタルモノトス。

1. 狩獵時代 *Stufe der Jagd und Fischerei.*

此ノ時代ニ於ケル經濟行爲ノ特徴トシテ先占的生産ヲ主トスルモノニシテ人英ノ原始生活ニ見ル如クトス。

2. 牧畜時代 *Stufe der Viehzucht.*

此ノ時代ヨリ資本積成ノ必要ヲ生ジタルヲ見レバ、自ラ生活ノ敷ソニ家畜ヲ飼ヒタル其ノ一定ノ牧場ニ定住スル游牧人種ノ生活ナリトス。

3. 農業時代 *Stufe der Ackerbau.*

此ノ時期ニ入りテハ農業經濟ノ敷ニ一定ノ規則正シキ平衡ノ必要トナリ、住民ノ一定區域ニ定住スル生活トナレルモノトス。

4. 農工業時代 *Agricultur-Manufakturperiode*

農業發達スルト共ニ農具及ヒ其ノ他ノ生活需要具ノ製作ニ従事スベキ職業即チ工業ノ成立トナリシモノ矣ニ亦此ノ第四期ナリトス。

5. 農工商時代 *Agricultur-Manufaktur-Handelsperiode*

現代ハ正ニ此ノ時期ニ屬ス、口家慣習ノ盛ントナリ曰民生活ノ複雜トナルニ從ヒテ生産者ト消費者トノ間ニ在ル商業ナル媒介者ノ手ヲ煩ハスコト益々多ク曰常生活ハ均シド万才才端悉ク商人ノ仲間ヲ經ルノ時代ナリトス。

第二節 交換取引状態ニ依ル區別

1. 自然經濟時代 *Naturalwirtschaft.*

人類生活ノ内最も原始的經濟狀態ヲ言フモノニシテ自ラソノ需要スルモノハ自ラ之ヲ生産シ。時ニ自己ノ有セザル他人ノ物ヲ要スルハ自ラノ所有物ニシテ他人ノ所有モノト物々交換ニヨルモノニシテ何等ノ交換ノ媒介手段ヲ有セザル時代ナリトス。

2. 貨幣經濟時代

Geldwirtschaft.

經濟生活漸ク発達シ自己ノ生産物ノ一部自己ノ生産力ノミヲ以テ其ノ經濟生活ヲ濟ムコトアタハホルト共ニ一方職業ノ區別ヲ生ズルニ至リ。物々交換ヲナセシ如キ方法ノ困難ニシテ且マ費用多キ事ノ現目ヨリ。最も交換媒介性ニ當メル手段トシテ貨幣ヲサダメ。此レヲ以テ一切ノ財貨ヲ計量シ。評價スルニ至レリ。度量衡制度亦此ノ時期ヨリ生ズ。

3. 信用經濟時代

Kreditwirtschaft.

商業ノ勃興・或ハ遠ク海外ト交易ヲナスニ至リ一々貨幣ヲ授受

ルノ不便ト困難ハ當事者双方ノ信用ヲ以テ貨幣代用物タル手形・ソノ他ノ証券ヲ以テ決算スルノ最も便利ニシテ便宜多キヨリ近世商業界ニ於テハ悉ク此ノ信用經濟ノ作用ヲ銀行制度ニ倚リテ行ハル・モノトス。更ニ口氏經濟ヲ分ケテ交換媒介手段ヲ標準トシテ三時期ニ區別シタルハ實ニ *Bruno Hildebrand* 氏ナリトス。

第三節 生産組織ニ依ル區別

此ノ區別ハ *Karl Bücher* 氏ノ説ニシテ新債力生産者ノ手ヲ離レテ消費者ニ至ル過程ノ狀態如何ニ依リテナセルモノトス。

1. 封建的家族經濟時代 *Die Stufe der*

gesellschaflichen Hauswirtschaft.

此ノ時代ニ於ケル經濟ハ自ラ需要スル物ハ自ラ之レヲ生産シ。少シモ他人ニ供給スルコトナク。需要セザルモノトナシ。只一家族内ニ於テ

各々経済行爲ノ分相ヲ壹ハノミ、此ノ如キハ突ニ古代及ビ中世ヨリ近世都市ノ発達ニ至ル迄ノ状態ヲリシナリ。

2. 都市経済時代 *Stadtwirtschaft*

此ノ時代ハ前者ノ時代ニ繼イテ起リシ経済生活ニシテ中世ノ後半ヨリ都市ノ発達ト共ニ現出セシ状態ナリキ。此ノ時代ノ特色ハ需要ノ急ニ交換ニヨリテ生産ト消費トヲ銜平シ此等取引ハ都市ヲ中心トシテ行ハレシカ故ニ都市経済ノ源アリ。

3. 國民經濟 *Volkswirtschaft*

此ノ場合ニ於テハ前者ヨリ其ノ経済範囲、更ニ広大ナルモノニシテ財貨ハ市場生産トナリ、生産者ヨリ消費者ノ手ニ歸スル迄ニハ競争ノ経済組織ノ下ヲ經ホルベカラホルト、ナリサキニ都市ヲ中心トセシ経済ハ今ヤ一地方又ハ一口家ヲ中心トシテ流通セラル、ニ置ル。此ノ時代ノ

特色ハ突ニ此ノ流通組織ノ発達ニヨルモノニシテ商業ハ此ノ媒介業トシ最モ重要ナル位置ヲ占ムルモノニシテ生産ニ於テモ大資本ヲ以テ廻轉資本主義生産方法ノ行ハル、モ突ニ此ノ時代ナリトス
以上陳ハマル *Bücher* ノニ階級ハ、(1) 自足経済 *Wirtschaft*
(2) 7 解賣(注文)生産 *Kunde produktivzeit*、(3) 7 商賣生産時代 *Waren produktivzeit*、ト謂フコトヲ得

第四節 政治法律組織ニ依ル區別

此一區別ハ *Guisean Legnollen* 氏ノナス如クニシテ各経済生活ヲ決定スル當時ノ政治的、法律的組織ニヨル區別ニシテ以下ノ四階級トナルモノトス。

1. 村落經濟 *Dorfwirtschaft*

人種ノ起源ハ社会學上、家族生活ナル團體生活トナシ 親戚故同一團

ヲナシ諸ニ一村ヲ組織スルニ至レリ。村落經濟トハガカル團體ノ經濟
狀態ヲ謂フモノトス

二、都市經濟

Stadtwirtschaft.

カ、ル村落團體經濟時代ヨリ後ニ人口漸ク増加シ。茲ニ農村ノ併命ト
ナリタルモノ即チ都市ナリ。此ノ狀態ニ於ケル時代ノ經濟狀態チ都市經
濟ト言フ。

三、領域經濟

Territorialwirtschaft.

都市ハ一般村落ニ比シテ種々ノ特權ヲ有シ。其ノ住民ハ一身上ノ自由
ヲ保シセラル、等地方田舎ニ見ラレハル政治的的法律上ノ特權特異ヲ有ス
ルコトヲ言シ。此ク、如何シテ都市ハ地方ト命体シ。茲ニ一領域ノ團體經
濟ニ入ルモノトス。

四、國家經濟

Staatwirtschaft.

此ク、如何ヲ都市ト地方トノ共同經濟斷ク發達シ。更ニ數多ノ都市及ビ
數多ノ地方ノ一支權者ノ政治權力ノ及ビ範圍ヲ以テ其ノ團體經濟トナレ
ルモノ實ニ此ノ國家經濟ニ外ナラズ。

以上ノ口氏經濟ノ發達ヲ見ルニ *Selfmatters* 氏及ビ *Riegers* 氏
氏共ニ同一ナル種別的觀念ニ基キシモノナルヲ認メ得ベシ。又
Selfmatters 氏、*Riegers* 氏ノ都市經濟ヨリ直ニ口氏經濟ニ入ルニ
及シテ其ノ中間ニ領域經濟ヲ介入シタルニ止ム。

第五節 以上ニ説ノ折衷説

以上ノ學說ノ外更ニ *Bispingen* 氏及ビ *Selfmatters* 氏ノ説ニ依
ル口氏經濟ヲ區別シテ、
(1) 封建的家族經濟時代、

(2) 交通経済時代 *Verkehrswirtschaftsperiode* + 18

(2) フ細分シテ

(a) 地方的ニ結合セル交通時代、即チ都市経済

(b) 国家的ニ結合セル交通時代、即チ最初の国民経済時代

Beginnende Volkswirtschaftsperiode.

(c) 自由交通時代、即チ進歩的国民経済時代 *fortschrittliche*

Volkswirtschaftsperiode、トスルモノニシテ此ノ時代

ニ資本主義、勢力最大ナルモノナルコトヲ説ク

以上、區別ハ不 *Kengen von philippewid.* 氏ノ説ク如

第六節 経済ノ社会化ニ依ル區別

秩序ノ凡テノ国民経済ニ于スル発達ニ于スル理論ヲ以テ *Werner*

Lombart. 氏ハソノ経済生活ノ外秒ニ拘泥セズ各時代ノ経済生活

ノ主動力タル経済精神、差異ヨリ區別ヲ設シ、経済状態ノ社会性ノ程度ニ

個人経済 *Individualwirtschaft.*

消費経済ノ凡テノ需要ハ一面生産経済ヲ蔽クモノニシテ兩者ハ同一ナル

又 過渡期経済 *Ubergangswirtschaft.*

此ノ経済ハ低級組織ノ社会経済ニシテ消費及び生産経済ノ分離ヲ未シ

社会経済 *Sozialwirtschaft.*

此ノ経済ニ於テハ前者ト異ナリ、ソノ組織、完備セル社会経済ニシテ

又市街村落 *Marktsiedlung*

農業ノ位置ハ概ネ一直線ニ兩側ニ并ビ其ノ中央ニ學校、及び教會ノ在
ルコト多シ、米田以外ノ村落ニ多シ。

3. 圓形村落

Runddorf、ハ道路ヲ田形ニ作り其ノ兩側ニ住宅、併立スルモノヲ
言フ。

此ノ時代ニ於テル村落トシテ住民中ニ一人ノ首長トリテ各人ハ此ニ對
スル一定ノ物價的及び勞務的給付ノ義務ヲ負ヒ外部ニ對スル一切ノ行爲
ハ首長ニ於テ之レヲ代表スルモノトス。

第二節 農夫解放時代 *Bauernbefreiung*

曰瓦ノ智識漸ク普及シ強制労働ノ農業上何等ノ價值ヲ有セズ單ニ地主

ノ專ニ農夫ノ苦役タルニ止マルニスギホルトコトヲ認ムルト共ニ佛蘭西革
命ノ原因タリシ自由思想彌漫シ、茲ニ農夫解放、及び生計ノ改造ヲ叫ビ
仏口ニ於テモ一七八九年八月四日、及び十一月ノ以氏議會ニ於テ賦税廢
止ヲ封建制度ノ特權ヲ廢シ、從來地主ハ農夫ヨリ其ノ小作料トシテ永入
的地代ヲ徵取セシヲ改メテ、償却地代 *Amortisationsrente*、
ノ方法トナシ、之ニヨリテ農夫モ本地主ヨリコトヲ得ルモノトセリ。

第三節 耕地整理時代 *Feldbegleichung*

農夫解放ノ結果、農業ハ益々萎約的トナリ、從ツテ從來ノ共有地ノ農
業遂次ニ着シキ有膏ナルヲ認メ、政府ハ強制力ヲ以テ土地併命、又ハ分
離ヲナシテ耕地整理ヲ爲シ、其ノ結果左ノ規定ヲ定メタリ。

徵發權 *Präferenzrecht*

二ヨリテ一定數ノ土
地關係者アル片ハ反對者アルニ拘ラズ耕地整理ヲ実行スルコト。

2. 農業地 牧場庭園等、差別アルトキハ同種同種ノモノト認
定スルコト。

3. 測量費用ハ千原者ニ於テ之ヲ負担スルコト

4. 耕地整理ニ于スル爭議ハ委員會 *General Commission*

ヲ第一番トシ、第二番及第三番ハ地方農事高等裁判官 *Oberlandes-
Kultursenat*、(伯林)ニテ決定スルコト

耕地整理、結果多數ノ曰備労働者ハ其ノ家畜ヲ養フコト能ハズ、遂
ニ群ヲ成シ、都市ニ入ルノ止ムヲ得ナルニ至リス。

第四節 土地分割時代

Grundbesitzverteilung

農業ハ其ノ經營方法ニヨリテ次ノ三種ニ分類スルコトヲ得。

1. 自作 (土地ノ所有者ニヨル) *Selbstbewirtschaftung*

此ノ經營方法ハ知河向ハ經營ナルモノニシテ口民經營ヲ指スルコト

若シルテ農業者、家族モ亦ソノ收益ヲ以テ衣食スルモノトス。
又、委任經營

Administration、トハ土地所有者自ラ經營ノ任ニ當ル

コトナキモ支配人 *Administrator*、ヲ任用シテ自己ノ計算ノ

下ニ經營スルモノトス。此ノ方法ハ何等ノ利益ヲ与ケル方法ニアラズ

3. 賃借農業 *Verpachtung*

土地所有者、自ラ經營スルナク、其ノ土地ヲ他人ニ賃附、其ノ及利給

付トシテ小作料 *Canon, Pachtgeld*、ヲ得ルモノトス。

此ノ方法ニ 定期賃借 *Zeitpacht*、ト無定期賃借 *Erbpacht*、
トアリ。

前者、賃借ニ一定ノ契約期間ヲ有スルモノトシテ、向新ハ殆ンド
短有者、如ク相続權ヲ有スルモノト。

第五節 農業種別

農業ハ更ニソノ收益及び經營方法ノ経済的差異ニヨリテ次ノ如ク区別
サラル、甲アリ。

(1) 大農 *große Bewirtschaftung*

此ノ場合ニ於テハ、兼業ヲ指揮シ、管理スルニ專向者ヲ使用スルモノト
ス。

(2) 中農 *Mittlere Bewirtschaftung*

中農トハ土地短有者由ラ労働者、一ハトナリテ耕作ニ従事スルモノ
トス。

(3) 小農 *kleine Bewirtschaftung*
之ハ單ニ一家族ノシヨクテ耕作スル場合ヲ指ス。

第五章 職業制度ノ發達

gewerbetätigkeit

第一期 手工業組合制度

zünftwesen

手工業組合制度ノ成立ハ英口、仏口、萊モ自リ、獨ニ於テハ恐ラク
ハ第十一世紀頃ニ成立セシモノナルベシト。

手工業組合ニ於ケル特色ハ自由競争ノ制限ニ在リ、蓋シ職業従事者及
ビ地方市場ノ利益ヲ壟斷セントシタルノナリトス。第ニハ組合委員ハ
ヨリ自己ノ責任ヲ以テ其ノ消費者、欲望ヲ充足シ、正當ニシテ且ク良貨
ノ供給ヲ給付スルニ在リタリ。

組合員各自ノ手及ビ親睦ヲ計リ親方 *Meister* 職人 *gesellen*
及ビ徒弟 *Lehrlinge* ヲ以テ組織シ、職人及ビ弟ハ夫ニ親方ニ連綴ス
ルノ過程ヲルニスヤズ。徒弟ハ始メ三年乃至六年ノ修業期間ヲ了ヘ、試
験ノ上職人トナリ、二年乃至三年、旅行修業ノ旨、親不試験ニ及弟シテ

親ガトナルモノトス、

親ガハ労働組合、取締リルト共ニ企業家タリ、資本家タル族必然者
タリ、徒勞及ビ職人トニ屬シテ親ガノ職業ヲ助ク。

第二期、特許制度、*Permissionssystem.*

予ニ業組合制度ハ緩多、特許ト最格ナル規約ヲ有シタリシガ此等、特
水ハ向ニ口家ノ手添フ度ケ口家ノ特許ニヨリテ職業組合ヲ成立スルコト
ヲ許シ、之レヲ特許制度ト称ス。

此ノ制度ニアリテハ予ニ業組合ニヨル要件ヲ具備ヒサル者トモ口家
ノ特許ニヨリテ親ガトナル事ヲ得ルモノニシテ今日トモ尙ホ此クノ如
キ制度ノ存スルコトアリ、口家ハ特許ヲ附與スルト共ニ多大ノ義務ト責
任ヲ課スルモノナルガ故ニ一般公衆モ亦口家ノ特許アル者ヲ信任スルニ
至ルノ利益アリ。

第三期、營業自由制度、

Gewerkefreiheitssystem.

産業組織ノ発達スルト共ニ技術及ビ機械労働ノ増大シ、前ニ手工業
組合及ビ特許制度ノ必要ヲ認メホルニ至レリ。

一オニ於テハ人口増加シ、生産組織複雜シクハ、大量生産ノ必要ヲ求
シタルノ原因ハ營業自由ノ要求トナレリ、仏口ニ於テハ十八世紀末ニ至
リ、手工業組合ノ特權ヲ制限シ、遂ニ一七九一年七月十七日、法律ヲ以
テ手工業組合制度ヲ廢止シ、普濟西モ亦仏口ノ例ニ倣ヒテ一八〇八年十
二月二十六日、法令ヲ以テ營業自由ノ原則ヲ認メタリ、精乙帝口ニ於テ
ハ一八六九年六月二十一日、營業條例 *Gewerkeordnung*。
ヲ以テ一般の營業自由ノ原則ヲ確立シタリ。

第四期、經濟國營論、*Staatswirtschaftung der Wirtschaft.*

一、二、特種職業ヲ除ク外一般の營業自由ヲ認メタルノ結果資本ノ十

分ナラヤル者ノ企業者トナリ。又ハ經驗及ビ智識ヲ目セハル者ノ企業者トナレテ、且テノ方面ニ於テ著シキ職業致。及ビ培養者ヲ増加シテ、
 ヲ該ニ營業種ト競争致基ノ声ハナハダシク地才近世資本ノ勢カ強大トナ
 2. 生産組織ノ大規模ナルモノニアラホレバ利潤ヲ得難ク、労働者ノ賃
 金問題ノ不手高ク、企業者ハ何業者ノ競争ノ最ノニ必要ナル經費多キ
 故ニ消費者ハ必要以上ノ生産致先費ヲ負担スルニ至リ。或ハ其ノ競争ニ
 堪ヘズシテ販賣以下ニ致売スル生産企業ノ競出シアルヲ見テ凡テノ生産
 ヲ口齒トシテ此カレ弊害ヲ除カントスルノ論起レリ。

大正十一年五月廿八日印刷 (國民經濟學第二編)
 大正十一年六月一日發行
 神田區北千代田一丁目
 印刷者 石井辰雄
 印刷者 橋由秋
 發行所 明治堂

終

